

水銀等の処理の方法

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号		1			
処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号		1号ボイラー			
水銀等の処理施設の種類、名称及び型式		ろ過式集じん機 BBB型			
設置年月日		年 月 日	年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日		〇〇年 〇月〇〇日		年 月 日	
使用開始予定年月日		〇〇年 〇月〇〇日		年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	湿り	最大 44,000 通常 38,000	最大 通常	
		乾き	最大 55,000 通常 29,000	最大 通常	
	排出ガス温度 (°C)	処理前	160°C		
		処理後	140°C		
	排出ガス中の酸素濃度 (%)		6.3°C		
	水銀濃度 (µg / Nm <sup>3</sup> )	全水銀	処理前	3.8 µg / Nm <sup>3</sup>	
			処理後	0.34 µg / Nm <sup>3</sup>	
		ガス状水銀	処理前	3.0 µg / Nm <sup>3</sup>	
			処理後	0.30 µg / Nm <sup>3</sup>	
		粒子状水銀	処理前	0.80 µg / Nm <sup>3</sup>	
			処理後	0.04 µg / Nm <sup>3</sup>	
	捕集効率 (%)	全水銀	89%		
ガス状水銀		90%			
粒子状水銀		95%			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～ 24時 時間/回 回/日 20日/月	時～ 時 時間/回 回/日 日/月		
	季節変動	通年			

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設（集じん機等）について、記載すること。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、施行規則様式第2による受理証の写しを添付する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が当該構造図及び概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該構造図及び概要図の添付を省略することができる。